

隠れた奈良の魅力再発見

とっておきの奈良

vol.7

歌声が甦り、地域再生

世代をつなぐ学び舎に

宇陀市室生区 笠間地区

音楽の森運営委員会



旧保育所を改装した「音楽の森ふれあい館」。音楽にいざなわれるように人々が集い、子どもの声も戻った。



「奈良・もてなしの心推進県民会議」では、生き生きとした生活や交流を育むまちづくりを実践している地区を、「もてなしのまちづくりモデル地区」として認定。宇陀市室生区笠間地区もその一つです。

開館日はいつも音楽会。「音楽の森ふれあい館」から音楽が途絶える日はありません。昼下がりのコンサート（水・木・金・土14時）では、館の専属ピアニストや音楽家らが演奏を披露。一般参加のコーラス隊は懐かしいメロディーや童謡などを和やかに歌います。

ふれあい館の前身は、過疎化で閉所となった保育所でした。約4年間、子どもの笑顔も歌声も消えていきましたが、開館を機に小中学生の合唱団が誕生。元保育所長は「子どもの声を歌が運んできてくれた」と喜び、コーラスに加わっています。平成17年10月の開館以来、館の運営を支援

する「音楽の森運営委員会」の有田利史会長は「都会との交流の輪をこれから広げ、元気を得て帰ってもらえれば」と意気込みます。そんな思いを共有するのが、地区のボランティア。月に一度の「森の音楽喫茶」では、地元の野菜などで滋味あふれる軽食付きのコンサートを企画し、調理や会場整理などに抜群の結束力を発揮しています。

奮起する地区の人たちとともに歩む荒井敦子館長は、館を拠点にした新たな構想を温めています。それは、子どもからお年寄りまでともに学びあう、世代をつなぐ壮大な「自然の学校」。生徒は小学生以上なら何歳でも、どの地域からも大歓迎です。「農業、食育、音楽、環境、そして感謝の心。宿泊体験などをしながらこれらを総合的に学べる場をこの地に根付かせたいんです」。

森の音楽喫茶 ～音楽の森スタッフによる楽しいコンサート

とき 8/10(日)
モーニングタイム(50食限定で地産地消の軽食付き、要予約、600円)10:30～11:00、コンサート11:00～12:00
所 音楽の森ふれあい館(宇陀市室生区上笠間444-1)
間 同上 ☎0745-97-2215 11:00～16:00(日・月・火曜は休館)
アクセス/近鉄室生口大野駅下車、タクシーで約20分。名阪国道小倉ICからやまなみロードで上笠間方面へ車で約10分。

昼下がりのコンサートでは毎週木曜日、地区のボランティア手作りのデザート(300円)が付き、大好評。



「音楽の森むらうコーラス」の練習は月1回。練習日にはお化粧をして、腰もしゃんと伸ばして出かけるようになったお年寄りも多いとか。



美声と話術で参加者の心をつかむ荒井館長(着席)を核に、有田会長(写真右)ら地域ボランティアと館のスタッフの連携が光る。